

No.	期	道府県	市町村	偉人名	偉人プロフィール
1	1	北海道	大空町	根岸 錦蔵	女満別空港の基礎を作った民間飛行家。気象観測に貢献。
2	1	北海道	東川町	知里 幸恵	アイヌ語をローマ字で表記し、日本語訳をつけた「アイヌ神謡集」を著したアイヌ文化伝承者。
3	3	北海道	名寄市	木原 秀雄	高校教師退職後、私設天文台を建設、なよろ天文台の礎を築いた。
4	3	北海道	北広島市	中山 久蔵	道央以北の稲作普及に尽力した。ゆめびりか等北海道米の隆盛に続く「寒地稲作の祖」
5	2	青森県	弘前市	陸 羯南	新聞「日本」を創刊したジャーナリスト。正岡子規を庇護。
6	3	青森県	南部町	檜山 大典	青森県初の曹洞宗宗務総長、国登録有形文化財「法光寺承陽塔」建設
7	2	岩手県	花巻市	佐藤 昌介	札幌農学校第1期生としてクラーク博士に学び、北海道帝国大学初代総長となった。
8	3	岩手県	一関市	大槻玄沢、磐溪、文彦	玄沢は、日本初の蘭学入門書「蘭学階梯」刊行。磐溪は、開国論を唱えた和魂洋才の学者。文彦は、日本初の近代的国語辞書「言海」完成。
9	3	岩手県	久慈市	タマシ・アレン	大正時代から女子教育・幼児教育に努め、久慈市に各種学校を設立、アレン短期大学初代学長。
10	1	宮城県	蔵王町	北原尾に生きる人々	太平洋戦争終了後、南洋パラオ諸島からの引揚者が入植し、北原尾地区を開拓した。
11	2	宮城県	川崎町	支倉 常長	仙台藩建造の帆船サン・ファン・パウティスタ号でメキシコ・スペインに渡航。スペイン国王やローマ法王に謁見。
12	3	宮城県	亘理町	伊達 邦成	明治維新で領地を失った亘理伊達氏の家臣団が北海道伊達市を開拓、北海道農業の発展に寄与した。
13	1	秋田県	由利本荘市	小松 耕輔	日本初のオペラなど多数の作曲、合唱コンクール開催や、音楽教育に貢献し、作曲家の著作権保護にも尽力。
14	2	秋田県	男鹿市	天野 芳太郎	南米で事業に成功、古代アンデス遺跡の発掘・保護に取り組み、私財を投じりマ市に「天野博物館」を設立。
15	2	山形県	尾花沢市	高宮 常太郎	徳良湖の築堤や尾花沢鉄道敷設に尽力し、地域の発展に貢献。「花笠音頭」のルーツになった。
16	3	山形県	酒田市	土門 拳	リアリズムに立脚する報道写真で、戦後日本を代表する世界的な写真家。
17	2	福島県	塙町	白石 禎美	金融業・林業・電力会社などで産業振興、私財を投じ鉄道・道路・高校などの誘致・開設に尽力した。
18	3	福島県	小野町	丘 灯至夫	「高校三年生」、「みなしごハッチ」、「ハクション大魔王」などの作詞家。
19	1	茨城県	笠間市	田中 友三郎	笠間の窯場を開拓し「笠間焼」の名で全国に販路を広め、技術向上・近代化に貢献した。
20	3	茨城県	北茨城市	岡倉 天心	東京美術学校校長。文化財保護に努め、「日本美術院」を作り横山大観などと新しい日本美術を研究。
21	3	茨城県	五霞町	一色 輝季	利根川の氾濫で飢饉に苦しむ村人のため、関宿藩の御用船から年貢米を強奪し村人に分け与えた。
22	3	茨城県	龍ヶ崎市	木村 安兵衛	あんパンを開発し、静岡の徳川慶喜や明治天皇にあんパンを献上した。銀座木村屋総本店創業者。
23	1	栃木県	下野市	下毛野 古麻呂	我が国初の本格的な法律「大宝律令」を藤原不比等らと共に編纂。兵部卿、式部卿などの大臣職を歴任。
24	3	栃木県	さくら市	足利 島子	室町時代末期、小弓公方・足利家存亡の危機に、豊臣秀吉と折衝し、古河公方・足利家を存続させた。
25	3	栃木県	芳賀町	岡田 宗山	水不足に苦しむ農民のため、多額の私財を投じ約10年の歳月をかけて唐桶溜を築造し鬼怒川から導水した。
26	1	埼玉県	久喜市	中島 撫山	私塾「演孔堂」、私立学校「幸魂教舎」を開校し、地域の教育に尽力。作家「中島敦」の祖父。
27	1	埼玉県	嵐山町	畠山 重忠	源頼朝に仕え、源平の戦い・木曾義仲追討・奥州合戦などで活躍した鎌倉幕府の御家人「鎌倉武士の鏡」。
28	2	埼玉県	松伏町	山崎 峯次郎	日本初純国産カレー粉の独自製法による製造に成功。エスピー食品(株)創業者。
29	2	埼玉県	吉見町	源 範頼	源頼朝の弟。源平の合戦では東軍の総大将を務め、頼朝の命を受け全国を転戦した。
30	3	千葉県	鋸南町	醍醐 新兵衛	江戸湾で組織化した捕鯨を行い、房総捕鯨の祖として地域の産業を興し、繁栄を築いた。
31	1	新潟県	佐渡市	有田 八郎	広田・近衛・平沼・米内の四内閣の外務大臣。戦争終結について熾烈な上奏文を天皇に奉った平和主義者。
32	2	新潟県	胎内市	板額 御前	鎌倉幕府と戦った女武将で、弓の腕は百発百中と「吾妻鏡」に記されている。
33	2	新潟県	燕市	鈴木 文臺	私塾「長善館」創設、約80年間1,000人が学び「北越の文化を振興したるもの」と明治政府から賞された。
34	2	新潟県	新潟市	田沢 実入	信濃川下流域の水害を激減させ、新潟平野を日本有数の穀倉地帯に変えた「大河津分水路」を開通。
35	2	富山県	砺波市	利波臣 志留志	東大寺の大仏造営に米3000石を寄付し、大仏完成に貢献。無位から伊賀守に立身出世を果たした。
36	2	富山県	南砺市	松村 謙三	戦後の混乱期、文部・厚生・農林大臣を歴任し、農地改革の断行、日中国交正常化の基礎を築いた政治家。
37	3	石川県	志賀町	加能 作次郎	苦難の少年期を過ごし、後に早稲田大学に進み、坪内逍遙、島村抱月に師事した自然主義文学作家。
38	3	石川県	穴水町	長家21代 長 連龍	賤ヶ岳の戦い・朝鮮出兵・関ヶ原の戦いなどで戦功を挙げ、3万3000石の大身となり前田家を支えた。
39	3	山梨県	甲州市	雨宮 敬次郎	生糸取引で財を成し、甲武鉄道（後の中央線）など多数の企業を経営。山梨県の鉄道開通に尽力した。
40	3	山梨県	山梨市	根津 嘉一郎	東武鉄道をはじめ多くの会社を再建した。小学校建設や根津橋架橋など私財を投じ故郷の発展に尽くした。
41	3	山梨県	南アルプス市	内藤 多仲	歌舞伎座、東京タワーなどの鉄塔設計で知られる建築家。「耐震構造の父」、「塔博士」と呼ばれる。
42	1	長野県	生坂村	加藤 正治	東京帝大教授、中央大学初代総長。枢密院顧問官として日本国憲法の審議に加わり、法整備に貢献。
43	1	岐阜県	中津川市	前田 青邨	伝統的な日本絵画の美質を現代に再現、法隆寺金堂壁画再現事業など文化財保護にも貢献した。
44	3	岐阜県	中津川市 2回日	長瀬 富郎	舶来品を超える品質の「花王石鹼」を国産。花王石鹼(株)の創業者。
45	2	岐阜県	恵那市	山本 芳翠	西洋に渡り本格的洋画を学び、帰国後日本にそれを広めた明治洋画壇の先駆者。
46	2	岐阜県	富加町	斉藤 新五	斉藤道三の末子と伝わり、織田信長の側近として美濃攻略・上杉征伐で戦功を挙げる。本能寺の変で討死。
47	3	岐阜県	高山市	金森 長近	信長・秀吉・家康の三家に仕えた戦国武将。飛騨高山藩初代藩主として、飛騨高山のまちづくりに功績。
48	1	静岡県	牧之原市	田沼 意次	9代将軍家重に相良藩を拝領し大名となり、10代将軍家治にも重用され幕府老中となる。農業依存から重商主義に転換し幕府財政を改善、貨幣経済が発展し歌舞伎や浮世絵等の江戸文化が開花した。
49	1	静岡県	袋井市	三浦 環、政太郎	環は世界的オペラ歌手、代表作「蝶々夫人」。政太郎は緑茶にビタミンCが豊富に含まれることを発見。
50	1	愛知県	豊川市	曾田 梅太郎	数学教科書の執筆や黒板コンパスなどの教習具を発明。数学教育や学校運営を学ぶ世界一周の旅をした。
51	2	愛知県	西尾市	岩瀬 弥助	岩瀬文庫設立、西尾鉄道敷設、病院や学校の建設資金寄附など町づくりや地域の教育・文化向上に貢献。

No.	期	道府県	市町村	偉人名	偉人プロフィール
52	2	三重県	亀山市	ヤマトタケル、 オトタチバナヒメ	ヤマトタケルは「古事記」「日本書紀」のヒーロー。亀山市北東部「能褒野」で最期を迎えた。オトタチバナヒメはタケルの妃で、海を鎮めるため走水に入水した故事で知られる。亀山市中央部の出身。
53	2	三重県	菰野町	八重姫	菰野藩初代藩主土方雄氏の正室。祖父信長譲りの器量で領民の人望を得、菰野藩を3代に渡り支えた。
54	2	京都府	南丹市	井上 堰水	私塾発蒙館を開き、八木町の新修校・園部高等小学校・園部高等女学校の校長を歴任。地域教育に尽力。
55	1	兵庫県	新温泉町	加藤 文太郎	パーティー登山が常識であった時代、単独行で次々と登攀記録を立て、新田次郎「孤高の人」のモデルとなった。
56	2	兵庫県	猪名川町	加茂 守	割れやすい卵を守り、大量陳列を可能にした「たまごパック」を発明、卵の流通に革命をもたらした。
57	2	兵庫県	南あわじ市	鶴澤 友路	重要無形文化財「義太夫節三味線」保持者（人間国宝）で、学術技芸の保存伝承に貢献した。
58	3	兵庫県	香美町	前田 周助	和牛の飼育、改良に人生を捧げ、「但馬牛」の基礎となった優良な血統牛「周助蔓」の生産に成功した。
59	3	兵庫県	養父市	上垣 守国	養蚕技術書「養蚕秘録」を著し、日本のみならず、翻訳出版されヨーロッパの養蚕技術改良にも貢献した。
60	1	鳥取県	北栄町	豊田 太蔵	私塾「育英齋」を開き、後に文部大臣認可「私立由良育英中学校」を設立し郷土の若者教育に貢献した。
61	2	鳥取県	伯耆町	辻 晋堂	若くして木彫作家として評価を得る。京都市立美術専門学校教授に就任後、彫刻の世界に新たな領域を開き、世界的彫刻家となった。
62	1	島根県	美郷町	中原 芳煙	東京美術学校日本画科を首席で卒業、正倉院御物や古今諸派の技法を研究して画技を磨き、「鹿の絵」など動植物画が高く評価される。
63	1	岡山県	備前市	熊沢 番山	岡山藩主池田光政に仕え治水、窮民対策などに活躍。隠居後も、光政と共に教育振興策に尽力。
64	1	岡山県	和気町	和気 清麻呂	桓武天皇に仕え治水事業や長岡京遷都に活躍。平安京遷都の責任者となり1,200年続く「京の都」を築いた。
65	1	岡山県	笠岡市	茅原 基治	ロシア革命で帰郷できない子ども800名を救い、3カ月地球半周の航海の末、無事親元まで送り届けた。
66	2	岡山県	赤磐市	永瀬 清子	「現代詩の母」と呼ばれる女性詩人。岡山県詩人協会を設立、世界連邦運動や岡山女性史研究も行った。
67	2	岡山県	井原市	平櫛 田中	明治・大正・昭和にわたり107歳まで活躍した木彫作家。国立劇場の「鏡獅子」などの傑作を遺した。
68	2	岡山県	津山市	箕作 阮甫	医学・語学・地理学・兵学など広い分野の“洋学”を翻訳し、幕末の外交交渉、日本の近代化に貢献した。
69	2	岡山県	奈義町	井戸 泰	感染症ウイルスの病原菌を発見し、大正8年ノーベル賞（医学・生理学賞）にノミネートされた。
70	3	岡山県	矢掛町	渡邊 武次郎	三菱地所(株)の社長・会長を務め、丸の内オフィスビル街の再開発を進め、「三菱地所中興の祖」と呼ばれた。
71	1	広島県	北広島町	鬨光	フランス近代絵画の影響を受けながら、“日本人の油彩表現として一つの到達点”に達したと評された。
72	3	広島県	坂町	畝 為吉	ハワイで働いた私財を投じ、帰郷して地元住民と共に地域をつなぐ上條トンネルを開通させた。
73	3	山口県	長門市	大津 あきら	慶應義塾大学で、つかこうへい劇団に参加し音楽活動を開始。中村雅俊「心の色」など多くの歌を作詞。
74	3	山口県	岩国市	藤岡 市助	東京電燈会社、白熱舎（現東芝）創設、日本初の電車・エレベーター設計。「日本のエジソン」と呼ばれる。
75	2	徳島県	阿南市	森甚五兵衛	阿波水軍を率い、大坂冬の陣で武功を挙げ、徳川方についた蜂須賀家躍進の原動力となった。
76	3	徳島県	徳島市	初代天狗久 <small>（吉岡久吉）</small>	「阿波人形浄瑠璃」に使われる阿波木偶の人形師。人形の目にガラス玉を採用したり、頭の大形化を行った。
77	3	徳島県	那賀町	谷崎 義男 <small>（鱗海）</small>	小学校中退の丁稚奉公から高等文官試験合格、アユの研究に打ち込み、理学博士の学位を取得した。
78	1	愛媛県	鬼北町	井谷 正命、正吉	正命は日吉村初代村長・郡会議員・県会議員等を歴任、正吉は社会運動活動を展開、地域の発展に尽力。
79	3	愛媛県	今治市	丹下 健三	「世界のタンゲ」と呼ばれる建築家。広島平和記念資料館・代々木第一体育館・東京都庁舎などを設計した。
80	1	高知県	津野町	片岡 信子	土佐勤皇党の志士であった夫を助け、夫の死後も貧しい中で片岡直輝（大阪ガス初代社長、南海電鉄社長、阪神電鉄社長）、直温（日本生命社長、大蔵大臣）兄弟を育てた賢婦。
81	1	福岡県	築上町	延塚 右衛門	天保飢饉の際、農民のために根付け料を独断で免除し、その責を取って切腹。多くの農民の命を救った。
82	2	福岡県	みやこ町	吉田 健作、増蔵	健作は、殖産興業で製麻工場を国内3か所に建設した。増蔵は、宮内省で元号「昭和」を考案した。
83	3	福岡県	柳川市	雲龍 久吉	大相撲第10代横綱として活躍、横綱の土俵入り「雲龍型」の創始者。
84	3	福岡県	宗像市	出光 佐三	出光興産創業者、石油産業・宗像神社再建・福岡教育大学誘致に貢献。百田尚樹「海賊とよばれた男」。
85	1	佐賀県	鹿島市	田澤 義鋪	農村の立直しを図る「青年団運動」に尽力、「日本青年団の父」。選挙粛正・女性の政治参加にも取組んだ。
86	1	佐賀県	みやき町	古賀 稔彦	バルセロナ五輪 金メダル獲得など「平成の三四郎」と称された柔道家。
87	1	熊本県	菊池市	菊池 武光	菊池氏第15代当主となった南北朝時代、南朝懐良親王に忠義を尽くし、菊池一族の最盛期を築き上げた。
88	1	熊本県	湯前町	那須 良輔	児童漫画家としてデビュー、戦後に似顔絵を用いた風刺漫画の連載を長年にわたって続けた。
89	2	熊本県	南関町	北原 白秋	近代日本を代表する詩人。詩集・歌集・小説・翻訳・歌の作詞など、幅広い創作活動で活躍した。
90	1	大分県	国東市	三浦 梅園	私塾「梅園塾」を開き「条理学」を築く、窮民救済制度「慈悲無尽」や功績から「豊後聖人」と呼ばれる。
91	3	大分県	由布市	後藤 檜根	日本童話会を設立し、多くの童話作家を育成。「東洋のアンデルセン」「月の詩人」と呼ばれた。
92	1	鹿児島県	長島町	飯尾 裕幸	町長として町民所得を上げた。アイデアとやる気で過疎と離島のハンディを克服し、伊唐大橋の架橋を実現。
93	2	鹿児島県	南さつま市	黒瀬杜氏三人衆	焼酎杜氏集団「黒瀬杜氏」「阿多杜氏」として、全国の酒蔵に醸造技術を伝え、現在の焼酎造りの礎を築いた。
94	3	鹿児島県	さつま町	原田 正純	患者の立場に立って水俣病の研究や支援を行った。国内外の公害問題などにも尽力した。
95	3	鹿児島県	大崎町	出原 次左衛門	摂津国郡奉行ながら、徳川政治に不満を持つ大阪民衆を薩摩藩領大崎郷に移住させ、荒佐野を開拓した。
96	3	鹿児島県	いちき串木野市	長沢 鼎	幕末、英国に最年少13歳で密航留学した薩摩スチューデント、その後米国に永住しワイン事業で成功した。
97	3	鹿児島県	阿久根市	中尾 純利	国産飛行機「ニッポン号」で、五大州を巡る世界一周飛行に成功。東京国際空港初代空港長となった。
98	3	鹿児島県	天城町	徳 三宝	全九州の中学柔道大会を制し、上京して講道館に入門。「講道館四天王」と呼ばれた。講道館九段。
99	3	沖縄県	うるま市	安慶名 良信	太平洋戦争で荒廃し食糧難に苦しむ沖縄に、ハワイの沖縄県出身者が募金で繁殖用豚550頭を購入し、約30日間の航海を経て沖縄に送り届けた。沖縄県の養豚業は復活し、戦後沖縄の復興に大きく貢献した。
100	3	沖縄県	本部町	健堅大親	船が難破漂着した明国人に、船と馬を与え、明に帰国させた。後に中国皇帝からお礼の品が贈られた。